

地域・在宅看護学概論

責任者・コーディネーター	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授		
担当講座・学科(分野)	地域包括ケア講座		
対象学年	2	区分・時間数	講義 22.5 時間
期 間	前期		
単 位 数	2 単位		

・学修方針（講義概要等）

地域で生活する人々の健康や QOL の向上を目指した地域・在宅看護の基本的概念、在宅ケアに関わる制度、本人、家族の地域における生活を理解した、多様な場における基本的な支援のあり方を学ぶ。また、地域包括ケアシステムにおける地域・在宅看護の位置づけを理解し、本人・家族、コミュニティへの健康の支援と、看護と介護のチームケアなど在宅における関係機関や関係職種との連携における看護職の役割を学ぶ。

・教育成果（アウトカム）

地域で生活する人々を対象とした看護活動を学修することで、そこで暮らす人、在宅療養者および家族の生活の場である地域を捉える方法を理解し、対象者のニーズに合わせたそれぞれの活動の場における看護職の役割を説明できる。また、地域包括ケアシステムにおける多様な関係機関や専門職と地域の人々との連携・協働を学ぶことにより、地域に暮らす人、在宅療養者および家族を支えるために必要な看護の役割を考えることができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：3、4、7、9

・到達目標（SBO）

1. 地域・在宅看護が必要な背景や目的・理念について説明できる。
2. 地域・在宅ケアに関わる保健医療福祉制度、地域包括ケアシステムを理解できる。
3. 地域看護活動における多様な場の特徴について知り、その場における看護師・保健師・ケアマネジャー・養護教諭などの役割を考えられる。
4. 国や地方自治体等、行政機関の特徴を理解し、そこにおける保健活動について説明できる。
5. 企業や学校の特徴を理解し、産業保健、学校保健における保健活動について説明できる。
6. 地域・在宅での生活を支えるケマネジメントの概念、課程を知り、サービス調整方法を理解できる。
7. 地域・在宅看護における家族のとらえ方を説明できる。
8. 訪問看護ステーション、地域包括支援センター等の在宅療養者および家族を支える看護職の役割を説明できる。

9. 地域で生活する個人・家族・集団・組織を対象とした、健康の保持増進、疾病予防のための支援方法の特徴を説明できる。

・授業日程

(矢) 西 1-B 講義室

【講義】

月日 (曜) 時限	講座(学科) 担当教員	授業内容/到達目標
4/7 (金) 2限	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授	<p>地域看護の理念・目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域看護学の目的を理解し、看護職の役割・機能が説明できる ・地域アセスメントの必要性を理解し、地域診断・地域看護活動の展開モデル（コミュニティ・アズ・パートナーモデル）におけるアセスメント項目を説明できる ・地域看護活動が展開される場の特性を説明できる ・地域における看護実践の変遷を理解し、地域・在宅看護の実践の発展の特徴を述べることができる <p>事前学修：教科書 88～94 ページを読んでもくる 事後学修：自分が住んでいる（または実家）の地域の特徴（人口・世帯、健康、保健医療提供体制等）を調べてみる</p>
4/14 (金) 2限	地域包括ケア講座 赤井 純子 助教	<p>地域看護活動の場と特徴：行政</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健師の就業先を説明できる ・保健所における保健活動の特徴を説明できる ・市町村における保健活動の特徴を説明できる <p>事前学修：1年生で履修した「地域健康生活論」の地域看護における看護職の活動の場と役割に関する内容を復習しておく</p>
4/25 (火) 4限	地域包括ケア講座 赤井 純子 助教	<p>地域看護活動の場と特徴：産業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業活動に伴う健康問題を説明できる ・産業保健活動の内容を理解できる ・職場における健康確保対策、メンタルヘルス対策を説明できる ・産業保健における看護職の役割を説明できる
4/27 (木) 4限	地域包括ケア講座 松岡 真紀子 助教	<p>地域看護活動の場と特徴：学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校保健制度について説明できる ・学校保健活動に伴う健康課題を説明できる ・学校保健における養護教諭の活動と役割を説明できる
4/28 (金) 2限	地域包括ケア講座 松岡 真紀子 助教	<p>地域看護活動の展開：個別支援（家庭訪問・健康相談）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭訪問や訪問指導の目的と対象を説明できる ・家庭訪問の優先順位を説明できる ・健康相談の目的と対象を説明できる ・健康相談の技術について説明できる

5/9 (火) 4限	地域包括ケア講座 赤井 純子 助教	地域看護活動の展開：集団支援（健康教育） ・健康教育の目的と対象について説明できる ・健康教育の対象規模とその特徴について説明できる ・健康教育の進め方について説明できる ・地域で行われている健康教育の実際を理解できる
5/12 (金) 2限	地域包括ケア講座 藤原 弥生 助教	地域療養を支える制度（教科書 142～191） ・フォーマルサービス・インフォーマルサービスを理解し、活用に結びつけることができる ・我が国の保健医療福祉制度の概要を説明できる
5/15 (月) 4限	地域包括ケア講座 藤原 弥生 助教	在宅療養を支える訪問看護（教科書 198～210、222～226） ・訪問看護の目的、制度、看護職の役割を説明できる ・訪問看護ステーションの設置、運営、サービス利用までの流れを説明できる
5/18 (木) 3限	地域包括ケア講座 藤原 弥生 助教	在宅療養の場における家族のとらえ方（教科書 66～85） ・家族看護理論について説明できる ・家族をアセスメントする方法を知り、家族介護者の健康を考えたケアを実践できる
5/26 (金) 1限	地域包括ケア講座 松岡 真紀子 助教	地域看護活動の場と特徴：在宅における活動（訪問看護ステーション） ・訪問看護の目的と内容について説明できる ・在宅看護が関わる療養の場について説明することができる ・暮らしを理解したアセスメントの視点を説明できる 事前学修：教科書 33～40 ページを読んでくる
6/2 (金) 2限	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授	地域看護活動の場と特徴：在宅における活動（地域包括支援センター） ・地域包括支援センターの機能と役割を説明できる ・地域包括支援センターの看護職の役割を理解できる ・地域包括支援センターの職員配置、地域支援事業の活動内容を説明できる 事前学修：地域包括支援センターに関連する法制度の要点をまとめておく
6/9 (金) 2限	地域包括ケア講座 藤原 弥生 助教 松岡 真紀子 助教	地域包括ケアと多職種連携、ケアマネジメントの実際 ・地域包括ケアシステムにおいて連携が必要な関係機関・関係職種が理解できる ・ケアマネジメント過程におけるサービス調整方法を理解する 事前学修：介護保険制度を復習しておく
6/13 (火) 4限	地域包括ケア講座 藤原 弥生 助教 松岡 真紀子 助教 藤澤 純子 助教	地域包括ケアにおける連携・協働 ・関係職種の役割を理解し、問題解決に向けた連携・協働の具体的な取り組みを理解できる ・グループワークを通してお互いの学びを共有することができる
6/16 (金) 2限	地域包括ケア講座 藤澤 純子 助教	在宅看護活動の実際：ゲストスピーカー ・療養生活の場、療養者の状況、看護の関わりの実際から、訪問看護の機能と役割を説明できる

6/23 (金) 2限	地域包括ケア講座 藤原 弥生 助教	地域・在宅看護の動向と今後の発展（教科書 278～294） ・在宅看護の先駆的取り組みから、地域に広がる看護の役割を語ることができる（ディスカッション） ・地域・在宅看護の今後に向けて、自らの役割を模索できる
-------------------	----------------------	--

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	ナーシング・グラフィカ地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア	臺 有佳 他編	メディカ出版	2022
参	ナーシング・グラフィカ地域・在宅看護論② 地域療養を支える技術	臺 有佳 他編	メディカ出版	2022
参	基礎からわかる地域・在宅看護論	池西 静江 他編	照林社	2021
参	公衆衛生看護学 JP 第5版	荒賀 直子 他編	インターメディカル	2020
参	系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論 [1] 地域・在宅看護の基盤	河原 佳代子 他	医学書院	2022
参	系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論 [2] 地域・在宅看護の実践	河原 佳代子 他	医学書院	2022
参	看護学テキスト NICE 在宅看護論 自分らしい生活の継続を目指して	石垣 和子 他編	南山堂	2017
参	家族看護を基盤とした地域・在宅看護論 第5版	渡辺 裕子 監修	日本看護協会出版会	2021

・成績評価方法

定期試験 80%と課題レポート 20%の合計 100%にて評価する。

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

シラバスに記載されている次回の授業内容及び到達目標を確認し、教科書・参考書等を用いて事前学修を行うこと。また、授業を受けた後は該当する内容を教科書等で復習する。事前学習をもとに授業でディスカッションする。各授業に対する事前学修時間は最低 30 分を要する。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

・レスポンスカード、グループでディスカッションした内容については、適時コメントを伝えるなど、学生にフィードバックする。
・試験のあとは、WebClass に必要な解説を掲載する

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

保健師（別表 1）：公衆衛生看護学 公衆衛生看護学概論
看護師（別表 3）：専門分野 地域・在宅看護論

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
------	----------	----	------

講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影
講義	DVD（ブルーレイおよび一般 DVD）再生機器	1	講義時使用